

平成28年11月6日
今週のベストショット



青松園B 塩浜ジャガーズ 対 雁ノ巣ライナーズ戦
初回の満塁のピンチを救う雁ノ巣ライナーズ山本右翼手のスーパープレイ！
写真：三友クラブ 大坪和則

青松園A 投手戦を七回完封で制した奈多フェニックス！

新町ウインズ (6勝6敗) 0000000 0 藤田●ー今林
奈多フェニックス (9勝1敗2分) 000020× 2 松本○ー実延

2HB：今林勇太、福島（奈多フ） 盗塁：桐島2（新町ウ）、今林英二（奈多フ）

奈多フェニックスは初回、二死か三番今林勇太選手が左翼への二塁打を放つと四番今林英二選手がセンター前へはじき返す。しかし、センター桐島選手の見事なホームへの好返球によりタッチアウトでフェニックスの先制点を阻止した。三回表、ウインズは二死からも九番渡辺選手がチーム初安打を放ち、続く桐島選手もヒットを重ね、チャンスを作るも後続が続かず無得点に。このまま四回まで両ピッチャー譲らず無得点がつづくが、試合が動いたのは五回裏。フェニックスの二番福島選手が右中間への二塁打で出塁すると、続く今林勇太選手がすかさずセーフティーバントの内野安打でチャンスを拡大。そこに相手WPで1点を先取し、続く実延新伍選手のタイムリーで2点目を奪取する。続く試合展開も両ピッチャーの好投で締まったゲームを続け、終わってみればフェニックス松本投手が七回5安打完封で勝利を引き寄せた。今日は、両チームとも好投手の投げ合いで七回までフルイニングを存分に魅せてくれた試合だった。（記事・写真：三苦フレンズ 肥喜里一征）



七回5安打完封と躍動するフェニックス松本投手。



新町ウインズ先発の藤田投手。



一回裏、センター前へ放つ今林英二選手だったが・・・



センター桐島選手からの好返球で先制点を阻止。



二回裏、浅いライトフライで好守を見せた大久保選手。



三回表、ウインズ初安打となる渡辺選手。



三回裏、難しいキャッチャーフライを好守今林選手。



五回裏、左中間への二塁打を放つ福島選手。



五回裏、すかさずバント安打で出塁する今林勇太選手。



2点目のタイムリーヒットを放つ実延新伍選手。

青松園B チャンスに確実に得点を重ねたライナーズが勝利！

塩浜ジャガーズ (5勝6敗1分) 000000 0 内田●、道喜ー橋村

雁ノ巣ライナーズ (6勝5敗2分) 02104X 7 有馬○ー明瀬航

HR: 宇野 (雁ノ巣) 2BH: 中口 (雁ノ巣) 荒木 (塩浜ジ) 盗塁: 竹尾 (塩浜ジ) 池内、久保田 (雁ノ巣)

塩浜ジャガーズ内田投手、雁ノ巣ライナーズ有馬投手で試合は始まった。一回表先攻ジャガーズは、二死から有馬投手が三連続四球で満塁とすると、六番橋村選手が初球をライト前にフラフラとしたフライを放つ。落ちればいきなり先制！と思われたがライナーズ山本右翼手が猛ダッシュでこれを好捕し、得点することが出来なかった。その裏ライナーズは3人で攻撃を終了しジャガーズ先発内田投手はいいスタート。しかし二回裏ライナーズは一死から五番明瀬旭選手がバントヒット、六番明瀬航選手が四球で一死一二塁。ここで七番鳥越選手の打球はセンターを超えるかと思われたがジャガーズ田中中堅手がこれを好捕しチャンスの芽を摘み取った。しかしPBで二死二三塁となり、八番山本選手が鋭く左前適時打を放ち2点を先制！ライナーズは三回裏にも二死から三番中口選手が二塁打、四番宇野選手が左前適時打を放ち更に1点を追加。ジャガーズは二回以降出塁はするが1本が出ずチャンスを作ることができなかったが、五回表チャンスが訪れる。二死から一番荒木選手が二塁打を放ち上位陣につながり得点なるかと思われたが、あとが続かず得点できなかった。その裏、ライナーズは九番池内選手がバントヒットで出塁すると一番久保田選手がセンター前ヒットで一死二三塁となり、三番中口選手の内野ゴロの間に池内選手がホームに返り1点を追加。続く四番宇野選手が豪快に左中間を破る打球を放つと宇野選手もダイヤモンドを疾走し2ランHRとなる。その後WPもあってライナーズはこの回4点。六回表ジャガーズは二死から橋村選手がセンター前ヒットを放つが後続が続かず、そのまま時間切れゲームセット。ジャガーズ水流監督は「初回の満塁で得点することができなかったことが悔やまれた」とのこと。一方ライナーズ岩崎監督は逆に「二回裏のチャンスに山本選手が打って得点できたことがポイント」だったとのこと。いかにチャンスを活かすことが大切かを感じた試合だった。(記事: 三友クラブ駄原孝一郎、写真: 大坪和則、八尋豊)



塩浜ジャガーズ先発の内田投手。



雁ノ巣ライナーズ先発の有馬投手。



一回表、盗塁を決めるジャガーズ竹尾選手。



山本右翼手がタイムリー性の打球を好捕しピンチを救う。



二回裏、バントヒットで出塁するライナーズ明瀬（旭）選手。



大きな飛球を好捕するジャガーズ田中中堅手。



二回裏、先制打を放ちベンチに迎えられる山本選手。



三回裏、右前打で二塁を狙うライナーズ中口選手。



五回表、右前二塁打を放つジャガーズ荒木選手。



五回裏、内野ゴロの間にホームインするライナーズ池内選手。



五回裏、左中間に豪快なHRを放つライナーズ宇野選手。



六回表、センター前ヒットを放つジャガーズ橋村選手。



七回表よりマウンドに上がったジャガーズ道喜投手。



試合後、肩を組む両監督。

奈多グラウンド 奈多クラブ三回裏の集中打で首位奪取！！

三苦ホーネッツ（10勝3敗）000010 1 矢野●ー広木
 奈多クラブ（10勝2敗1分）10500X 6 今林（瑠）○ー安河内

2BH：広木（三苦ホ）今林（瑠）（奈多ク）

奈多グラウンドにて暫定1、2位の三苦ホーネッツと奈多クラブの試合が行われた。両チームとも好投手を有するため好ゲームが予想されギャラリーも多数見られる中試合が開始された。一回表、機動力と攻撃力の高い三苦ホーネッツを相手に今年ライズボールが良いと評判の奈多クラブエース今林（瑠）投手が三者連続三振という最高の滑り出しを見せる。対する三苦ホーネッツのエース矢野投手も先頭打者を遊ゴロに抑え良いスタート切るのが二番今林（賢）選手に死球を与えてしまいワイルドピッチの後に三番の凡打の間に三塁にランナーを進められる。そして、四番上野選手のレフト前ヒットで先制を許してしまう。二回表、追いつきたい三苦ホーネッツはこちらも四番広木選手のレフト前への当たりで二塁まで行き続く堺選手が自らも生きる送りバントを仕掛け無死一三塁のチャンスを作り出す。しかし、坂井選手の盗塁アウトと後続の連続三振でこの回は0点で終える。その後、投手戦を予想させたが三回裏の奈多クラブの攻撃で試合の流れが大きく傾いていく。この回、先頭打者の一番今林祐将選手が四球で出塁すると二番技巧派の今林賢人選手が送りバントをするが何とここで三苦ホーネッツに守備の乱れが見えてしまい無死一二塁となってしまう。続く三番今林瑠生選手を打席に迎え周囲の予想では送りバントだろうと思われたが打力の高い奈多クラブはヒッティングに出てライト線上への二塁打が飛び出す。そして、四球、七番阿部選手のセンター前ヒット、九番吉田選手のセンター前ヒット等も有り打者一巡でこの回

5得点。五回表、このままでは終われない三苦ホーネッツは先頭の六番矢野（雅）選手がセンター前で出塁し、送りバント後二死二塁で小技の上手い九番山崎選手がセーフティーバントを仕掛けると暴投を誘い1点を返す。しかし反撃もここまで、奈多クラブ今林瑠生投手の毎回三振11個の力投も有りゲームセット。軍配は古豪の奈多クラブに上がった。一つの守備の乱れから集中打に繋がった奈多クラブの攻撃力も凄かったが三苦ホーネッツを相手に二桁奪三振を奪いゲームの流れを一気に傾ける一打を放った今林瑠生選手のポテンシャルの高さが目立った試合となった。また、負けてはしまったが三苦ホーネッツはまだ日も出ていない中に集合し準備を怠らない姿勢と心意気が毎年上位に食い込むチームの強さなのだと感じさせてくれた。そのため一つの守備の乱れの怖さと悔しさが残る試合になってしまった。（記事・写真：新町パイレーツ 桐島 涼）



どちらも負けられない両監督握手で試合スタート！



奈多クラブのエース今林瑠生投手。



軽快な守備を見せた奈多クラブ上野遊撃手。



チームを鼓舞する今林祐将一塁手と吉田二塁手。



力投した三苦ホーネッツ矢野投手。



同級生の矢野投手を支える三浦一塁手。



ムードメーカーの山崎三塁手と安定感抜群の堺遊撃手。



一回表、先制打を放つ奈多クラブ上野選手。



先制のホームを踏む今林賢人選手。



二回表、二塁打を放つ四番広木選手。



送りバントでチャンスメイク堺恭祐選手。



セーフティーバントを決める山崎選手。



早く追いつきたいホーネットベンチ。



戦況を見つめる奈多クラブベンチ。



試合後健闘を称える。



この日のMVP林瑠生選手(左)と女房役の安河内選手(右)。

第22週編集後記

WSLの皆さん、こんにちは！

第22週、11月6日は3試合が行われました。

青松園Aの新町ウインズ対奈多フェニックス戦は、両チームランナーを出すものの守備が踏ん張り四回まで0行進。五回裏二塁打の福島選手をバントヒットで今林勇太選手が繋ぎ、WPと実延新伍選手のタイムリーで2点を挙げたフェニックス。このリードを最後まで0で守り抜いた松本投手の好投でフェニックス勝利。優勝戦線に踏み止まった。

青松園Bの塩浜ジャガーズ対雁ノ巣ライナーズ戦は、初回満塁のピンチを山本右翼手のスーパープレイで凌いだライナーズが、二回以降9安打を集め7得点。初回乱れた有馬投手は、その後持ち直し終わってみれば完封。0-7でライナーズの勝利。毎年開幕式にライバル視している監督同士の方を組む姿が印象的。

奈多グラウンドの三苦ホーネッツ対奈多クラブ戦は、どちらも優勝戦線生き残りを懸けた最終戦。一回表三者三振で奈多クラブ今林瑠生投手が波に乗ると、打線も四番上野選手の先制タイムリー。三回にも一番から始まる好打順で三番今林瑠生選手のタイムリーなどで一挙5点を挙げ試合を決めた。小技を駆使して得点に結びつけるホーネッツ本来の攻撃スタイルをものともしない奈多クラブの強打と投手力で1-6と奈多クラブの勝利。

これで優勝争いが奈多フェニックス(9勝1敗2分)と奈多クラブ(10勝1敗1分)に絞られました。

11月13日のフェニックス対ジャガーズ戦で、フェニックスが勝てば勝ち点32。

奈多クラブが最終パイレーツ戦で勝てば勝ち点34で優勝、引き分け32でプレーオフ、負け31です。フェニックスは勝つしかありませんね。

博多駅前の通りが陥没し、交通やライフラインが大変なことになっていますね。

WSLでも何らかの影響を受けている方がいるかもしれません。

週明けには復旧するようですが、工事のミスなどあってはならないことが今後起こらないことを祈ります。